

令和4年度 学校教育目標

京都市立音羽中学校

◇ 学校教育目標

- 「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を育み
共に「音羽中学校に来てよかったです」と思える生徒の育成

1 めざす生徒像・教職員像・学校像

〔めざす生徒像〕

- 広い視野と豊かな感性を持ち、未来を創造するたくましい生徒
- 学びの約束やルールを身につけ、課題意識を持ち主体的・意欲的に学ぶ生徒
- 互いの違いを認め、人権を尊重し自他の命を大切にする優しさと思いやりのある生徒

〔めざす教職員像〕

- 使命感をもち、専門性を高め教える楽しさと学ぶ楽しさを追求する教職員
- 一人ひとりの子どもを理解し、寄り添い、生徒理解を深め、愛情を持って接する教職員
- 「教えることは学ぶこと」を意識し互いに高めあい、生徒に範を示せる教職員

〔めざす学校像〕

- 元気と笑顔あふれ、生きる力を湧き出せる学校
- 学習環境が整った美しく落ち着きのある学校
- 人間尊重の精神にあふれ、友情と信頼に満ちた明るい学校

2 令和4年度 学校経営の重点

『いのち』

- 「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」という生徒指導の三機能を元に子どもの命を守り切る組織的な学校運営を推進する。

『よりそい』

- すべての生徒にとって過ごしやすい学校・学級づくりとわかりやすい授業づくりを推進する。
- 心豊かな生徒を育てるため、道徳教育、人権教育を推進する。

『つとめ』

- 基礎・基本の定着を図るとともに、生徒が主体的・対話的で深い学びのある授業に取り組む。
- G I G Aスクールの充実期となるよう、さらなる研究に努める。

『ひろがり』

- 家庭や地域社会の教育要求に応え、地域や家庭との連携を密にし、信頼される「開かれた学校づくり」を推進する。

○学校評価計画に基づいて生徒の実態や保護者の要望を把握し、評価結果から学校運営の検証をし、働き方改革を推進する。

『つながり』

○キャリア教育の視点から、総合的な学習の時間や特別活動の時間を設定し、生徒が自分の夢や目標を持ち、自分の進路を切り拓く力を持つ指導を行う。

○音羽中学校ブロックの小中一貫教育の充実を図り、「学びの連続性・接続」を推進する。

3 重点目標

1. 規範意識の育成を目指す生徒指導の充実（いのち）

生徒の言動に対して高いアンテナを持ち、気になる言動に対して、「報告・連絡・相談」を密にして、生徒指導にあたる。（「見逃しのない観察、手遅れのない対応、心の通った指導」）

2. 基本的生活習慣の定着に向けた取組の推進（いのち）

生徒会・部活動を中心とした生徒による自主的活動を推進していく。

生徒会活動の活性化から充実へ。

3. 教育支援シートをはじめ、スクールカウンセラーの活用及び関係機関との連携を密にし、不登校生徒や困りを抱えた生徒に対する積極的な支援を図る。（よりそい）

4. 人権学習や道徳教育の充実を図り、命を大切にし、自他を大切にし、感動する心や豊かな感性を育む。（よりそい）

5. 教職員が協力して自主的・積極的に教育活動に取り組む活力ある学校づくり（つとめ）

① 明るく元気に生徒の前に立つことを何よりも大事にする

② 3つの「ワーク」を大切にする。（「フットワーク・チームワーク・ネットワーク」）

③ 悩みや困り感を一人で抱え込まず、「チーム音羽」の力で解決、解消に努力する。

6. 各教科・領域において、その目標達成のために言語活動を取り入れた授業への改善（つとめ）

図書館を活用した授業とICTを活用したGIGAスクールの充実に積極的に取り組む。

7. 毎日の授業づくりから学校づくりへ（つとめ）

全国学力・学習状況調査 及び 学習確認プログラムの結果の分析による学力実態の把握
<具体的な指標として、指數100以上を目標とする。>

8. 学校運営協議会や地生連等、地域と連携した組織と共に開かれた学校づくりを推進する。（ひろがり）

9. 生徒指導・学習指導の課題克服に向けた音羽中学校ブロックの小中一貫教育を推進する。（つながり）

<管理運営面>

1. 快適で美しく安全な教育環境を作るため、教育環境の美化・整備に努める。

2. 効果的な教育活動推進のため、計画的に教材・教具の整備・充実・活用・開発・研究に努める。

3. 危機管理マニュアルの周知徹底と安全管理の点検と徹底及び防災教育の充実を図る。

4. 学校運営の効率化を目指し、教職員の働き方改革の実行に努める。

5. 教育効果を一層高めるための学校教育予算の効率的配分と計画的な効果ある活用に努める。